

『主は復活された。』

アレルヤー!

主任司祭 牧野 眞

ご復活おめでとうございます。今年の復活徹夜祭には、成人五人が受洗されます。上村神父様とシスター高良のお世話で長い準備の勉強の後に頂く恵みです。感激もひとしおのことと思います。新しくカトリック教会のメンバーとなる五人の方々に、城北橋みこころ共同体を代表して「おめでとうございませう」とお祝いの言葉を贈らせていただきます。

私事で恐縮ですが、自分の洗礼を思い出します。中学二年の時、復活祭ではなくて、クリスマスに受洗しました。二十四日の午後南山教会で同級生数人と共に洗礼を受けました。当時のカマボコ型の教会が懐かしく思い出されます。たたみ敷きの小さな聖堂は、日曜のミサともなると入口まで人があふれ、入り切れないほどでした。その当時の洗礼式は、ラテン語で、長時間緊張しながら立っていました。

その夜、隣の講堂で荘厳徹夜ミサがあり、初めて白いご聖体を頂きました。しかし、私はご聖体の意味をまだよく分かっていませんでした。というのは、中学二年の梅雨のころ友人を通して、教会の要理研究会に途中から入れてもらったからです。私一人は五ヶ月ほどの勉強でしたが、主任司祭の試験にもパスし、「洗礼を受けてよい子になるなら、よいことだ」という両親の許しもあり、学校で引き続き宗教の時間を取るようになるので、ようやく受洗が許可されました。私はたまたま中学からカトリック校に通うことになり、中学二年のクリスマスに憧れて洗礼の恵みを頂きました。神様は、友人を通して要理クラスに私を招き、五ヶ月足らずの準備で、ご聖体の意味もよく分からなかったにもかかわらず、私を洗礼、初聖体へと導いてくださいました。

この時、両親も私自身も、将来私が司祭になることになるとは夢にも思っていませんでした。私の受洗といい、司祭叙階の恵みといい、こんな私にもかかわらず、神様のなさることは、私たちの想像

を超えていて、全く不思議だと思えます。

今年の復活徹夜祭に洗礼を受けられる皆様は、準備が十分でないと感じられることがあるとしても、それを神様にお任せして、受洗の恵みを受け入れ、神様に感謝しましょう。復活したイエス様は、私たちの常識では考えられないほど、私たちの想像をはるかに超えて、ご自分の復活の命と愛で皆様を満たし、導き、有り余るほど豊かに補ってくださると確信します。

最後になりましたが、上村勉神父様は、協力司祭として三年間、私と城北橋教会を助けてくださいました。このたび瑞浪教会の主任司祭となられましたこと心から、お祝い申し上げます。たまたま私の手術も重なり、一番大変な時期にご協力いただきました。本当に助かりました。心から御礼申し上げます。今後ともお元気で、ご活躍されますようお祈りいたします。

